

目標達成計画

作成日: 平成 24 年 3 月 24 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	スプリンクラーの整備や食料備蓄など災害に備える体制は整ってきている。又、避難訓練についても定期的に行っているが、実際の災害に直面した場合の備えとすれば、まだまだ不十分な状態である。	地元消防団との連携を深め、地域住民の協力も得ながら、災害に備える。	運営推進会議に近隣の住民の方や地元消防団員の参加を要請し、連携の足がかりをつくる。訓練場面にも参加していただくようにして、有事に備えていく。	12ヶ月
2	33	重度化や終末期に向けた方針は、入居の際の家族への説明場面や、職員同士の認識についても口頭により共有できているが、明文化したものが無い。	重度化や終末期に対しての基本的な方針を改めて協議して、実態に則した形の文書を作成する。	職員会議の場面等で、他事業所の実態や取り組みを参考にして、社会の趨勢も考慮しながら、重度化や看取りについての事業所としての方向性を見出し、明文化していく。それに伴って改めてご家族の意思を確認をしていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。